

# 第28回 先端医療センター Monthly Lecture

多くの研究機関や関連企業が集積し、クラスターとしての体制が整いつつある神戸医療産業都市における次の課題は、意見交流の場を様々な形でつくりだし、関係者の縦横の協力関係を構築し、最近の研究開発をめぐる大きな変化に対応する体制を作り上げることです。その一つの試みとして、優れた研究者による講演会を定期的に開催し、交流、協力関係構築のきっかけを提供したいと考えております。

学会や交流会は盛んに行われており、最新のトピックスを伺う機会は豊富にありますが、優れた研究者の一連の研究の歩みや領域全体の研究の流れを伺う機会は多くはありません。そこで、本レクチャーシリーズでは優れた研究者をお招きし、十分な時間を取って一連のストーリー、考え方、研究に対する思い入れをお話しいたします。

先端医療センター長 鍋島 陽一

## 日時・場所

2014年5月9日(金) 16:30 ~ 18:30

神戸臨床研究情報センター (TRI) 第1研修室 ※参加費無料



■ 講師 審良 静男 先生 大阪大学 WPI 免疫学フロンティア研究センター  
拠点長・教授

■ 演 題 自然免疫の最近の進歩

## ■ 講演内容

Toll-like receptor (TLR) は、病原体の体内への侵入を感知し、防御応答を引き起こす膜型受容体である。TLR 以外にも病原体の侵入を感知する細胞質内に存在する受容体の存在もあきらかとなった。現在、われわれは TLR 応答のエフェクター相に焦点を向けている。最近、LPS によって誘導される遺伝子のなかに、Regnase-1/Zc3h12a と呼ばれる分子が IL-6 mRNA の不安定化に関わるヌクレアーゼであることをあきらかにした。本講演では、自然免疫による病原体認識を概説するとともに Regnase-1 ノックアウトマウスの表現型と炎症・免疫応答における役割について述べてみたい。

## ■ お申込み

- ◎参加を希望される方は、事前にEメール ([monthly-sanka@fbri.org](mailto:monthly-sanka@fbri.org)) にて、お名前・ご所属・メールアドレスをお知らせ下さい。
- ◎当日参加の方も歓迎です。
- ◎事前申込をいただいた方には、今後の「先端医療センターMonthly Lecture」のご案内をはじめ、当財団からのシンポジウムや講演会等のご案内をお送りさせて頂きたく存じます。連絡不要の方はお手数ですが、その旨お知らせください。

■ お問合せ Mail: [monthly-sanka@fbri.org](mailto:monthly-sanka@fbri.org) TEL: 078-306-0708